授業科目名・形態	成人・老年地域包括リハビリテーション実習　実習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	渡邉知子　他	実務経験の有無	有	開講期	3 年前期・後期
科目ナンバリング	N5-3016npmht				

【授業の主題】

成人期・老年期にある人が、疾患や外傷などによって生じた健康障害に対する治療を終え、生活障害を残したまま医療施設から生活の場に移行する際に必要となる看護援助を理解するために、病院から地域に生活の場の移行を円滑に行うための地域医療連携、および、患者サポートセンターにおける看護師の役割を学ぶ。

【到達目標】

1．患者サポートセンターを利用する人とその家族の特徴を学ぶ。
2．入院時からの患者サポートセンターと病棟の情報共有の実際を学ぶ。
3．病院から地域や生活の場に提供される情報とその活用を学ぶ。
4．病院から地域の生活の場への移行を円滑に行うための様々な場における看護師の役割を学ぶ。

【授業計画・内容】

実習内容の詳細は成人・老年地域包括リハビリテーション実習要項参照
実習場所：大館市立総合病院、大館市立扇田病院、独立行政法人労働者健康安全機構 秋田労災病院、医療法人楽山会 大湯リハビリ温泉病院、介護老人保健施設 成寿苑、介護老人保健施設 ケアタウンたかのす、介護老人保健施設 大館園

【授業実施方法】

臨地実習と学内カンファレンス

【事前・事後学習】

主な関連する科目での学習内容の確認、および、事前学習課題に取り組んで実習に臨んでください。

【主な関連する科目】 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ、成人看護方法論Ⅱ、成人看護方法論Ⅲ、成人・老年看護学実習Ⅰ、成人・老年看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ、老年看護方法論Ⅱ、老年看護学福祉実習、地域・在宅看護概論、地域・在宅看護論Ⅰ、地域・在宅看護論Ⅱ、在宅看護実習Ⅰ、在宅看護実習Ⅱ

【教科書等】 関連する科目で使用した教科書、レジメ、資料、図書館の蔵書などを活用してください。

【参考文献】 既習科目で紹介のあった資料、および、図書館の蔵書など必要な資料を参考にしてください。

【成績評価方法】 実習記録（60%）、実習状況・実習態度・カンファレンスなどの参加態度（40%）等の総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

リハビリテーション病棟に勤務し、健康障害のある対象者が生活障害をもって医療施設から生活の場に移動する際の援助を行ってきました。対象者のニードに加え介護者となる家族のニードもあり、看護職のみの援助ではなく、多職種間の連携した援助や医療施設内外の連携が必要となることを学ぶ機会にしたいと考えています。

【学生へのメッセージ】

病院から生活の場への移動は、健康障害以外にも様々な要因が関係します。これらの要因を整理し、多職種が連携して対象者の希望する生活の場に移行するための看護師の機能と役割を既習の知識と経験をもとに考えましょう。